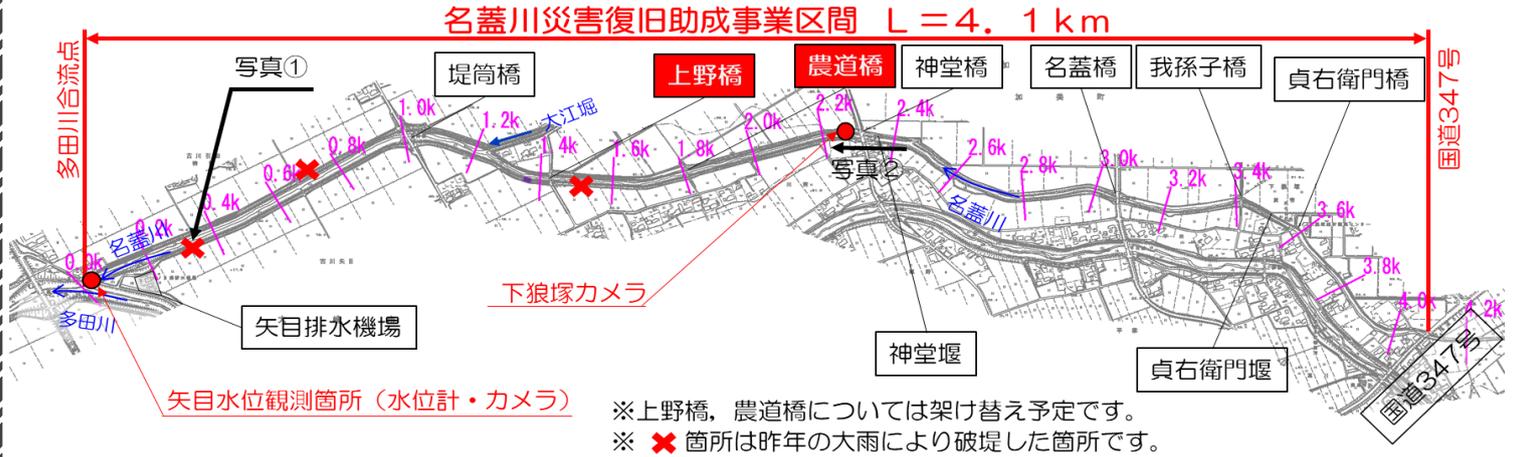




「名蓋川復旧だより」は、地域住民の皆様へ復旧事業に関する情報をお伝えするものです。

○事業概要・復旧方針

名蓋川は、平成27年の関東・東北豪雨及び令和元年の東日本台風、そして令和4年の7月豪雨により破堤し、矢目地区を中心に大規模な浸水被害を受けました。このため、これまで進めてきた堤防補強の内容を見直し、抜本的な対策を図るため、災害助成事業の採択を受け、多田川合流点から国道347号まで延長4.1kmを整備します。



○昨年7月豪雨で破堤した箇所等の応急復旧工事が完了しました。

写真①



矢目排水機場付近 (0.3k地点) の破堤箇所

○多田川合流点から国道347号までの河道掘削が完了しました。

写真②



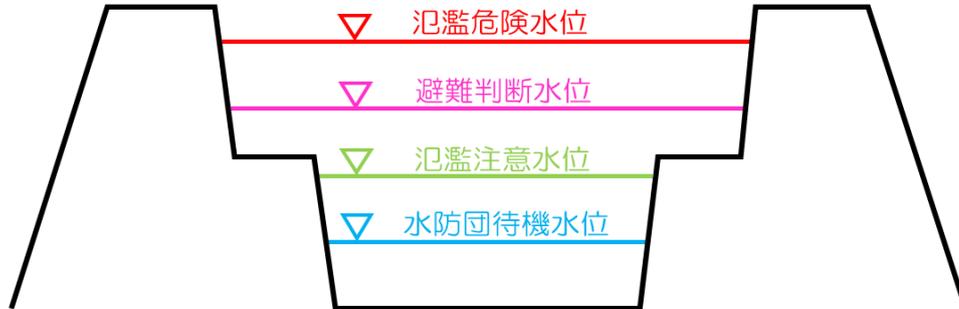
神堂橋から下流を望む

○名蓋川が、水位周知河川に指定されました。

水位周知河川とは、洪水により相当な被害を生ずる恐れがあるものとして、水防法に基づき国土交通大臣または県知事が指定した河川で、市町村長の避難指示等の発令判断の目安となる水位を設定しています。

名蓋川については、県で設置した「矢目水位観測局」の水位データを基に下記の通り設定しています。

- ・ 氾濫危険水位 市町村長の避難指示の発令判断の目安となる水位 **2. 200m**
- ・ 避難判断水位 市町村長の高齢者等避難の発令判断の目安となる水位 **2. 000m**
- ・ 氾濫注意水位 避難情報等に対する住民への注意喚起や水防団の出動の目安となる水位 **1. 800m**
- ・ 水防団待機水位 水防団が出動のために待機する目安となる水位 **1. 600m**



【矢目水位観測局の検索方法】（スマートフォン用）

①検索サイトで「宮城県河川流域情報システム」と検索

または、右記QRコードより読み込みします。



②「東部大崎」をタップ（選択）します。

③「水位▽」をタップし、下のタグから「水位経過表」を選択します。

④「次ページ」を2回タップ

○今後のスケジュール

現在、災害復旧工事の発注に必要な測量、調査及び設計を進めており、設計ができた段階で、9月頃を目処に関係者説明会を実施します。その後、10月頃から用地測量に現地着手します。関係する土地所有者の方には、後日、境界確認立会依頼を行いますので、ご協力願います。

また、来年度の本格的な復旧工事に向けて、耕作終了後、畦畔や用・排水施設等の農業用施設の移設工事に着手します。工事の実施にあたっては、事前に土地所有者の方から借地の了解をいただく必要がございますので併せてよろしく願います。

名蓋川災害復旧にかかる問い合わせはこちら

宮城県北部土木事務所河川砂防第二班
〒989-6117 大崎市古川旭四丁目1番1号
電話：0229-91-0747（直通）
E-mail：nh-dbkks2@pref.miyagi.lg.jp

FAX：0229-22-5260

